

キャラクター名
リータ・デ・パッツィ

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル オルクス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	おぼけ
	オプション		年齢	不明	性別	女
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	41	%
出自	一般家庭	経験	大惨事	邂逅	Dロイス：遺産継承者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	1	0	1		4	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	3	0	0			3	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウエポン	白兵	4r+4	3	12		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
祈りの造花		8			インフィニティウエポン5で取得

所持品	
コネ:UGN幹部	
思い出の一品	

合計装甲： 8 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
生前	P 懐旧	N 恐怖		
死後	P 幸福感	N 嫌悪		
遺産継承者	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1		常時					
効果：	衝動判定ダイス+lv							
オリジン：ヒューマン	1		マ					
効果：	シーン中、エフェクトの判定に+lv							
コンセ；エグ	2	2	×					
効果：	C-lv							
マルアク	2	3	マ					
効果：	エフェクト以外の挙動を一つとる。							
オールレンジ	5	2	×	武器				
効果：	判定ダイス+lv							
伸縮腕	1	2	×					
効果：	射程を視界に変更。ダイス-3-lv							
縮地	5	2	オ					
効果：	任意の地点に移動。シナlv回							
バックスタブ	5		常時					
効果：	縮地した際、ATK+lv*5							
インフィニティウエポン	5	3	マ					
効果：	ATKlv+7の武器を作成							
猫の道	★							
効果：	神出鬼没だ。							
生体侵入	★	4						
効果：	ほーん、耳から入るわ。重くね？							
擬態の仮面	★							
効果：	『変身するわ、変身するの。私は貴方、貴方は私。変身するぞ、変身したぞ。俺はおまえで、おまえは俺だ。』							
地獄耳	★							
効果：	デビルイヤーは地獄耳							

ある悲惨な航空事故の犠牲者。楽しい日本旅行の終わりは、最悪の締めくくりを見せた。成田空港から離陸したアリア航空403便墜落事故は、乗客、乗員計250名全員が死亡するという航空史に残る大惨事であり、彼女とその両親もその犠牲者である。

恐らく、彼女は何が起きたかもわからぬまま即死したと考えられる。このタイミングで（往々にして、レネゲイドは死者や瀕死の人間に集まりたがる傾向がある）感染したが、すでに彼女は息絶えていた。そこから蘇生するケースもあるが、今回は肉体よりその精神——つまり、魂に宿ったようである。結果として、彼女は所謂『幽霊』として現世に留まることとなった。墜落現場周辺で一般人に時折目撃され、怪談話になったことによりUGNの注意を惹き、回収された。精神の不安定さやその幼稚さから不安視されているものの、比較的従順であり扱いやすいため、奇妙な形だがUGNに協力するRBという格好に収まる。もしも回収に乗り出したのがゼノスだったとしても、すつんと落ち着いただろう。

子供故の飽きやすさや残酷さは場面、状況を問わず表面化する恐れがあり、『保護者』が必要となる。また、UGNでの任務を行うようになってから戦闘能力がはっきりと強化されているため——彼女から目を離してはいけない。子供は思いがけない行動をとるものだから。

『死』というあまりにも強いストレスを受けながら、しかし思念が残留した彼女は人格を分割することで強いストレスに対処した。即ち、成長した自分の理想像あるいは、自分の求める保護者だ。力強く快活だが乱暴者の「ドラシッラ」と心優しく穏やかな「ルヤンタ」である。

